

榛名湖周辺特定環境保全公共下水道事業計画書（変更）

公共下水道管理者	高 崎 市
工事着手の年月日	昭和 52 年 2 月 1 日
工事完成の予定年月日	令和 8 年 3 月 31 日
	令和 13 年 3 月 31 日

第1表

予定処理区域調書			
予定処理区域の面積	約58 ヘクタール	予定処理区域内の地名	群馬県高崎市、東吾妻町 「区域は一般図表示のとおり」
処理区の名称	面 積 (単位 ヘクタール)		摘 要
榛名湖周辺処理区	約58		

第3表

吐 口 調 書							
処理区の名 称	主要な吐口 の 種 類	主要な吐口の 番号又は名称	主要な吐口 の 位 置	計画放 流量 (m3/秒)	放流先 の名称	放流先の 水位	摘 要
榛名湖周辺 処理区	処理施設	No. 1	高崎市 榛名湖町	0.009 0.005	一級河川 榛名川 (長野堰)	低水位 TP+ 1,083.38m	河川低水量 0.1m ³ /秒

第4表

管 渠 調 書				
処理区の名称	主要な管渠 の内のり寸法 (単位 ミリメートル)	延 長 (単位 メートル)	点検箇所 の数	摘 要
榛名湖周辺処理区	⊙ 250～⊙ 800	3,250	1 箇所	方法：人孔内からの目視調査、もしくは管内カメラを用いる方法 頻度：5年に1回以上
合 計		3,250	1 箇所	

第5表

処 理 施 設 調 書								
終末処理場等の名称	位 置	敷地面積 (単位:ヘクタール)	計画放流水質	処理方法	処理能力		計画処理人口	摘 要
					晴天日最大 (単位:立方メートル)	雨天日最大 (単位:立方メートル)		
榛名湖水質管理センター	高崎市 榛名湖町	0.5	BOD 15 mg/L	回転生物接触法	900		定住人口 90人 51人 観光人口 6,450人 2,855人	計画下水流量 (日最大) 820m ³ /日 450m ³ /日 全体計画処理能力 (日最大) 900m ³ /日 流入水質 BOD...83mg/L 111mg/L SS...62mg/L 80mg/L 放流水質 BOD...15mg/L SS...15mg/L
終末処理場等の敷地内の主要な施設								
終末処理場等の名称	主要な施設の名称	個数	構 造	能 力	摘 要			
榛名湖水質管理センター	主ポンプ	3台	水中ポンプ (着脱式)	揚水量 1.25m ³ /分	3/3 (1台予備)			
	最初沈殿池	3池	鉄筋コンクリート造り	日最大 900m ³ /日	3/3 標準活性汚泥法等 (回転生物接触法)			
	回転円板槽	3池	鉄筋コンクリート造り	日最大 900m ³ /日	3/3 標準活性汚泥法等 (回転生物接触法)			
	最終沈殿池	3池	鉄筋コンクリート造り	日最大 900m ³ /日	3/3 標準活性汚泥法等 (回転生物接触法)			
	塩素混和池	1池	鉄筋コンクリート造り	日最大 900m ³ /日	1/1			
	汚泥濃縮タンク	1池	重力式	固形物負荷 70kg/m ² ・日	1/1			
	汚泥脱水機	1台	機械式	仕様 6.0kg-DS/hr	1/1			
	水処理棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1			
	管理汚泥棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1			
	スクリーン棟	1棟	鉄筋コンクリート造り		1/1			

※4 系列目は汚水調整池として使用する。

第6表

ポンプ施設調書						
ポンプ施設の名称	処理区の名 称	ポンプ施設の位 置	敷地面積 (単位ヘクタール)	1分間の揚水量 (単位立方メートル)		摘 要
				晴天時最大	雨天時最大	
榛名湖污水 中継ポンプ場	榛名湖周辺 処理区	吾妻郡東吾妻 町大字岡崎	0.016	0.13 0.07	—	污水 中継
高原学校 污水ポンプ場	榛名湖周辺 処理区	吾妻郡東吾妻 町大字川戸	0.0016	0.04 0.02	—	污水 中継
ポンプ施設の敷地内の主要な施設						
ポンプ施設 の 名 称	主要な施設 の 名 称	数	構 造	能 力	摘 要	
榛名湖污水 中継ポンプ場	ポンプ井	1	巾5.0m×長4.0m×深0.8m			
	ポンプ	3	水中污水ポンプ	揚水量 0.12m ³ /分/台	3/3 (1台予備)	
高原学校 污水ポンプ場	ポンプ井	1	巾1.5m×長1.5m×深1.0m			
	ポンプ	2	水中污水ポンプ	揚水量 0.06m ³ /分/台	2/2 (1台予備)	

6. その他の書類

6.1 施設の設置に関する方針（様式 1）

主要な施策 (事業計画に 基づき今後実 施する予定の 事業に該当す るものを記載)	整備水準				事業の重点化 ・効率化の方針	中期目標を 達成するための 主要な事業	備考
	指標等		現在 (令和6年度 末)	中期目標 (令和12年度 末)	長期目標 (令和33年度 末)		
汚水処理	下水道処理 人口普及率		100%	100%	100%	概成のため 特になし	なし
	管路施設 (管渠)	緊急度Ⅰの延長	0m	0m	0m	下水道ストックマ ネジメント計画に 基づき、段階的に 改築更新を行って いく。	下水道ストックマ ネジメント計画に 基づく改築更新 工事
	管路施設 (マンホール)	緊急度Ⅰのマンホールの箇所数	0箇所	0箇所	0箇所		
	下水処理場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数 (1施設のうち)	0施設	0施設	0施設		
	ポンプ場	「中分類相当」の健全度2以下の施設数 (2施設のうち)	0施設	0施設	0施設		
耐震化	災害 能時 確に 保お 率ける	主要な管渠	0%	0%	100%	重要な幹線等(約 3.3km)の耐震化 を進めるととも に、処理場及びポ ンプ場は、改築更 新計画と併せて 耐震化事業を進 める。	建築部分のみ耐 震化済み
		下水処理場	0%	0%	100%		
		ポンプ場	0%	0%	100%		
汚泥の 再生利用	燃料または肥料として有効利用さ れた割合		100%	100%	100%	肥料として 有効利用	なし

6.2 施設の機能の維持に関する方針（様式2）

a) 主要な施設に係る主な措置

i) 劣化・損傷を把握するための点検・調査の計画

主要な施設	点検・調査の頻度
管渠施設	施設の重要度等に応じて、概ね5年～50年に1回点検を実施。 点検の結果、異状の可能性のある個所についてテレビカメラ等による調査を実施。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	5年に1回程度の頻度で分解調査を実施。
水処理施設 (回転円板本体)	5年に1回程度の頻度で分解調査を実施。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	5年に1回の頻度で分解調査を実施。

ii) 診断結果を踏まえた修繕・改築の判断基準

主要な施設	修繕・改築の判断基準
管渠施設	緊急度Ⅰ・Ⅱのものを修繕・改築対象とする。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。
水処理施設 (回転円板本体)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	健全度2以下のものを修繕・改築対象とする。

iii) 改築事業の概要（令和7年度～令和12年度）

主要な施設	改築事業の概要
管渠施設	改築予定なし。
汚水・雨水ポンプ施設 (ポンプ本体)	改築予定なし。（令和5年度に、し渣破砕機の改築を実施済み。）
水処理施設 (回転円板本体)	改築予定なし。
汚泥処理施設 (汚泥脱水機)	改築予定なし。

b) 長期的な改築の需要見通し

改築の需要見通し (年当たりの概ねの事業規模の試算)	試算の対象期間	試算の前提条件
約 967 百万円 / 年 約 1,573 百万円 / 年	概ね50年後	管路施設 処理場施設

※改築の需要見通しは、全処理区の合計金額とする。

7. 毎会計年度の工事費の予定額及びその予定財源（様式 3）

単 位:千円

イ. 経 費 の 部									
年 次	建設改良費					起債元利 償還費	維持管理費	その他	合 計
	管 渠	ポンプ場	処理場	計	うち用地費				
令和6年度まで	565,592	135,492	1,719,524	2,420,608	-	1,440,928	666,476	-	4,528,012
	565,592	135,492	1,713,133	2,414,217	-	1,440,928	666,476	-	4,521,621
令和7年度	-	-	10,274	10,274	-	14,785	22,263	-	47,322
	-	-	16,665	16,665	-	14,785	22,263	-	53,713
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	27,808	27,808	-	13,539	22,920	-	64,267
令和9年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	10,000	10,000	-	11,716	20,395	-	42,111
令和10年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	10,000	10,000	-	11,693	20,395	-	42,088
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	10,000	10,000	-	11,671	21,485	-	43,156
令和12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	-	10,000	10,000	-	11,648	21,485	-	43,133
令和7～12年度 小 計	-	-	10,274	10,274	-	14,785	22,263	-	47,322
	-	-	84,473	84,473	-	75,051	128,943	-	288,467
合 計	565,592	135,492	1,729,798	2,430,882	-	1,455,713	688,739	-	4,575,334
	565,592	135,492	1,797,606	2,498,690	-	1,515,979	795,419	-	4,810,088

単 位:千円

ロ. 財 源 の 部											
年 次	建設改良費						維持管理費及び起債元利償還費				合 計
	国 費	起 債	他会計繰入金	受益者負担金	その他	計	下水道使用料※	他会計繰入金	その他	計	
令和6年度まで	1,320,844	785,200	228,826	-	85,738	2,420,608	404,804	1,340,494	362,106	2,107,404	4,528,012
	1,320,844	785,200	222,435	-	85,738	2,414,217	404,804	1,340,494	362,106	2,107,404	4,521,621
令和7年度	-	9,700	174	-	400	10,274	6,348	30,000	700	37,048	47,322
	-	9,700	6,565	-	400	16,665	5,728	30,620	700	37,048	53,713
令和8年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	-	26,416	492	-	900	27,808	5,855	29,804	800	36,459	64,267
令和9年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5,000	4,500	200	-	300	10,000	5,855	25,456	800	32,111	42,111
令和10年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5,000	4,500	200	-	300	10,000	5,855	25,433	800	32,088	42,088
令和11年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5,000	4,500	200	-	300	10,000	5,855	26,501	800	33,156	43,156
令和12年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5,000	4,500	200	-	300	10,000	5,855	26,478	800	33,133	43,133
令和7～12年度 小 計	-	9,700	174	-	400	10,274	6,348	30,000	700	37,048	47,322
	20,000	54,116	7,857	-	2,500	84,473	35,003	164,291	4,700	203,994	288,467
合 計	1,320,844	794,900	229,000	-	86,138	2,430,882	411,152	1,370,494	362,806	2,144,452	4,575,334
	1,340,844	839,316	230,292	-	88,238	2,498,690	439,807	1,504,785	366,806	2,311,398	4,810,088
下水道使用料 ※関連事項	接続率:100%(令和6年度:初年度) → 100%(令和12年度:最終年度)										
	講じる対策 概成しており、対策はなし。										
	有収率:84.6%(令和6年度:初年度) → 90%(令和12年度:最終年度)										
	講じる対策 不明水の多い箇所を抽出し、本管、取付管、枅の劣化状況や污水管への誤接続の有無を確認する。										
	その他講じる対策 特になし										